

FANTIC RACING

ファンティック・レーシング・ニュース
2025年5月7日

ファンティックのヤング・スターたち、マディのポルトガル GP でも注目を集める。



フランチェスコ=ベレイは欧州選手権 EMX でファンティック XX125 を表彰台に持ち込んだ。プレミア・クラスである MXGP ではグレン=コルデンホフとアンドレア=ボナコルシがともに 6 位以内を確保。力強い結果を記録した。

豪雨がポルトガル GP の舞台、アグウエダを襲い、赤土は見事なまでの泥のプールと化した。グレン=コルデンホフはしかしその直前、公式練習で 2 番手のタイムを記録。公式予選でも 7 番手を確保した。

しかし天候はすべてを複雑にした。予選レースは完全なマディ。「ザ・ホフ」は理想的とは到底言えないスタートから 1 コーナーでは完全に中団に埋没してしまっていた。1 周目はまさにカオスで、その中にはブライアン=ボ

ガースのクラッシュも含まれていた。10位につけていたアンドレア=ボナコルシがファンティックのトップ。コルデンホフは何とかその背中に追いつこうともがく状態だった。ボナコルシはしかしコーナーの処理に手間取ってポジションを下げた11位でフィニッシュ。コルデンホフは一方、8位に滑り込んだ。ボガースも順位を上げて13位での予選通過となった。

レース当日も地獄は変わらず、スタートは遅延されたが状況に大きな変化はないまま。だがブライアン=ボガースは危険とっていい状況をうまくこなしてレース1の1周目には3位につける。そのままレース前半を素晴らしいペースで走ったボガースはしかし、小さなミスが大きな失敗に結びついてしまい、左肩を脱臼。だがそこからなんとか追い上げて18位に入り、貴重なポイントを獲得した。

アンドレア=ボナコルシは厳しいコンディションの中手堅く6位を確保してファンティック・チームのトップに。コルデンホフはスタートを大きく失敗して順位回復に手間取り、チェッカーで8位に入るのがやっとだった。

レース2のスタートではマシになったコルデンホフ。ボナコルシとともにレース序盤から6位を快走した。ファンティック・デュオはミス避けながら手堅くレースを進め、5位にはいったボナコルシが総合4位に、6位のコルデンホフは総合も6位に入賞した。ボガースはまたも不運に見舞われ、テクニカルトラブルでのリタイヤを余儀なくされてしまった。

レース1でイエローフラッグ無視のペナルティを受けることとなったコルデンホフだが、しかしこのコンディションではそもそもフラッグが見えなかったというのに、5ポイントのペナルティを受けながらもチャンピオンシップ・ランキングは4位をキープ。ボナコルシは総合7位で次戦、スペインを迎えることになった。



アンドレア=ボナコルシ：6-5位の総合4位。手堅いレースができたね。土曜日にはこのトラックを攻略しきれなかったから、この結果には満足しないと。レース中にはいいリズムを掴めたから、MXGPというプレミアムクラスで常時5位を走るってのは本当に大変なんだけど、その意味でも喜ばないとね。このところ大きく進化し続けていることに本当にファンティック・ファクトリーレーシング MXGPのチームとファンティックのすべてに感謝をささげるよ。彼ら無くしてはこの結果は得られなかったことは間違いない。素晴らしい仕事をやってのけたし、それを誇りに思っているんだ。

グレン=コルデンホフ：いやー、雨は最悪だったね、少なくとも僕にとっては。レース1ではスタートでエンジンをストールさせてしまったうえ、2コーナーでクラッシュだ。最終的にこれで8位だったんだから、もう上出来だよ。でもイエローフラッグ無視で5ポイント取り上げられたのは残念だ。本当に見えなかったんだからね。レース2のスタートはまともで、手堅いレースができたよ。いや、僕なりにプッシュしたんだけど、このコンディションがそれ以上を許さなかったんだ。8-6の6位はもちろん目指していたことではないけれど、今にして思えば怪我もなく得られた結果なんだから悪くないよね。来週末はいいコンディションで、本当のレースができることを望んでいるよ。気分は前向きだからね、来週が楽しみだ。



ブライアン=ボガース：調子は良かったんだよ。レース1で3位を走っていたときは最高だったね。4位との間も大きく差があったからね。でもそこでミスしちゃった上に肩が外れちゃったんだ。何とか戻せて復帰しての18位さ。レース2では肩は問題なかったよ。でもマシントラブルでリタイヤになってしまったんだ。タフでなくてはならないことをよく学んだけど、メンタル的には大丈夫だ。7回転んだって、8回起きればいいってことさ。でも実際には、だれも転んでいるときにまた次も転ぶって教えてくれないんだ。なんだかいつも不運にやられっぱなしの感じがして気分的には落ち込むこともあるけれど、メンタルを強く保っていこうと思っている。

ファンティック・ファクトリーレーシング EMX

土曜日の練習走行はまだトラックがドライで、その貴重な時間に全ライダーがタイムを記録すべく必死に走りこんだ。ファンティックライダーたちもうまくその波に乗り、EMX250 のルーキー、シモーネ=マンチーニは練習走行で 3 位、計時予選では 6 位に入ることができた。125 ではフランチェスコ=ベレイが 4 位に入ったが、これはトップからわずか 0.508 秒遅れに過ぎなかった。

ベレイは素晴らしいスタートを見せ、1 周目を 6 位で戻ってきた。16 歳のイタリアンは雨がまるでモンスーンのように強気に降ってきてもその力を緩めず走り、リスクを避けながらも 3 位に入賞する素晴らしい結果を残すことができた。チームメイトのドウエ=ファン・メクゲレンはオランダ選手権で優勝して気分も上々で乗り込んできたが、トップ 10 からのスタートでマディと格闘。9 位に入り、2 台の XX125 がトップ 10 に入る結果を記録した。

レース 2 はさらにひどいマディとなっていたが、ベレイはペースをつかみ切ってトラックを攻略し、4 位入ることで総合 3 位を確保した。選手権ポイントも大きく稼ぐことでトップとのポイント差を詰めながらのシーズン総合での 2 位を維持している。ファン・メクゲレンは 2 レースでは 5 位を狙っていたがクラッシュして 8 位に。それでも総合 7 位に入賞となった。

EMX250 では、土曜日のレース 1 でシモーネ=マンチーニが理想的なスタートを見せ快走。ファンティック XXF250 でホールショットを奪うと、ルーキーとは思えないスキルを見せつけながら悪化していくコンディションでもポジションをキープ。残り 4 周目でトップを奪われたものの 2 位でゴールした。

レース 2 はさらに悪化したコンディション下でのレースになった。だがマンチーニは再び見事なスタートでトップグループに食い込み、残り 3 周の時点で 2 位に。しかし視界の悪化でゴーグルを交換せざるを得ず、8 位にまで落ちてしまう。それでも 3 位からわずか 3 ポイント遅れの総合 5 位に入賞した。



フランчесコ=ベレイ：またも泥の風呂に浸かっている感じだったけど、手堅いレースができたと思うよ。コースコンディションはレースができなくなるぎりぎりにまで悪化していて、でもチャンピオンを争うには十分にポイントを稼げたといっているはずだ。次のフランスまでちょっと間が空くけれど、努力を続けていくよ。



シモーネ=マンチーニ：土曜日は本当によかったね。ホールショットも取り、レースは2位だった。日曜日でもコンディションを除けばそんなに悪くない、、今年初めのコザールよりもひどい状況だったからね。全力を尽くして走り、何とか表彰台に立ちたかったけど、まあでもできる限りのことはやり切ったし、総合5位なら上出来と言わないとね。



ドゥエ=ファン=メクゲレン：最終的には一貫した週末だったって感じで、まあでもそれが僕の求めているところだからね。レース2ではトップ3でのゴール目前だったけど、クラッシュで自滅してしまったよ。いや、情けないけどね、でもこの週末はいろいろ稼げたんだ。計時予選もよく、スタートも2本ともよかったし、まあ結果も悪くないからね。



FANTIC FACTORY RACING MXGP



FANTIC FACTORY RACING EMX

